

助産師の皆さん

「青森県助産師活用推進事業」を知っていますか？

Lets' try it



助産師さんへの応援メッセージ

青森県看護協会 会長 柗谷京子

生命の誕生に立ち会うとき、何物にも代えがたい喜びを感じ、仕事の充実感は計り知れないものがあります。まさに寄り添う心と優しい手が融合して共に命を生み出す瞬間です。今、激変する社会背景を受けて助産師には、妊娠、出産、育児だけでなく女性のライフサイクル全てに関わることが期待されています。青森県の周産期を展望した時、来る2040年を見据えて、限られた人材をどのように確保し量と質を維持していくか、その姿を皆様と共に描きたいと考えます。本事業について、皆様お一人お一人のご理解とご支援をお願いします。

助産師を取り巻く現状と課題

▶ 青森県において助産師の人材不足、地域偏在は大きな課題

助産師1人あたりの分娩件数は施設間、地域間の差が大きい(全国：25.1)(本県：21.7～33.8)現状です。

安全で、安心な妊娠・出産・育児環境の整備には助産師の量と質の確保が重要です。



青森県看護職員の状況

従事者数と人口10万人対

		保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
青森県	実人数	684	337	13,048	4,894	18,963
	人口10万対 全国順位	54.2 第23位	26.7 第38位	1,033.1 第28位	387.5 第15位	1,501.5 -
国	人口10万対	41.9	29.2	963.8	240.8	1,275.7
差	-	12.3	△2.5	69.3	146.7	225.8

H30.12.31現在 (出典：衛生行政報告例 厚労省)

青森県助産師活用推進事業について

青森県看護協会では青森県からの委託をうけ、本県における助産師就業の偏在解消や助産師実践能力の強化を目的とした【青森県助産師出向支援導入事業】を平成27年から実施しております。

令和3年度からは、「青森県助産師活用推進事業」と事業名を改め、出向に特化せず、幅広く助産師を支援するための事業を実施します。

公益社団法人 青森県看護協会

具体的になにができるの？

出向の目的には主に【応援】【研修】【指導】【実習支援】があります。

- **助産師出向** 出向元、出向先、出向する助産師間であらかじめ必要な事項を協議・確認し、目的が達成できるように助産師コーディネーターが支援します。

応援目的出向	研修目的出向	指導目的出向	実習支援目的出向
他施設の労働力需要に応える	正常分娩の介助経験を増やす	ハイリスク妊娠・分娩等への対応	助産学生の実習を支援・指導

青森県助産師出向支援導入事業実績

H27	先進地視察調査(島根県・茨城県)意向調査実施
H28	出向支援導入事業実施準備情報交換会の実施
H29	モデル事業の実施 青森県立中央病院→むつ総合病院(2名) 出向期間：各6ヵ月
H30	本事業の実施 十和田市立中央病院→むつ総合病院(1名) 十和田市立中央病院→八戸市立市民病院(1名) 出向期間：各6ヵ月 弘前大学医学部附属病院→いちろうクリニック(1名) 出向期間：6ヵ月
H31	本事業の実施 青森県立中央病院→むつ総合病院(1名) 出向期間：3ヵ月
R2	本事業の実施 【研修】目的に特化した出向 弘前大学医学部附属病院→青森県立中央病院(1名) 研修出向期間：3日間
R3	青森県助産師活用推進事業として実施(名称変更)



出向した助産師さんの感想

- 経験年数の短さや、ブランクがあった分娩の感覚を取り戻せた。
- 他の施設の分娩介助を学ぶことができた。
- 周産期医療についての学びを深め、他の助産師にも還元できた。
- 生活環境や、労働環境に慣れることに労力を要し、不安も大きかったが、出向の成果もあった。



助産師出向や質向上研修の申込みは施設あてに送付した文書をご覧ください。

*



- **助産師の質向上** CLoCMiPレベルⅢ更新対象研修を、実施します。受講料無料

1 日時 7月31日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:00

場所 ホテル青森



2 内容

①「青森県の周産期医療の現状と課題～臨床推論の基本的概念の理解～」

講師：横山 良仁氏(弘前大学医学部附属病院 周産母子センター部長)



②「明日から活用できる超音波検査～助産師に求められる超音波検査の知識と技術～」

講師：馬場 一憲氏(埼玉医科大学総合医療センター)

総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 客員教授



長期間の出向は無理な方でも、期間の短い研修出向も可能です。

他施設を経験することで、助産師実践能力向上とよりよいケアに繋がり、活動の場も広がります。

是非、この事業を活用してみませんか。 **Lets' try it**